

日本農業気象学会 2014 年度総会 議事要旨

日 時：2014 年 3 月 19 日（水）12:45～14:45

場 所：北海道大学学術交流会館 講堂

会長挨拶 会長 大政謙次 氏
大会委員長挨拶 酪農学園大学学長 干場信司 氏

議長に 北宅善昭会員（近畿支部長）を選出

1. 2013 年度活動報告

1.1 事務・事業報告

- 1.1.1 役員等の交代 → 報告通り承認された
- 1.1.2 会員数の動向 → 報告通り承認された
- 1.1.3 研究集会・会議等の開催 → 報告通り承認された
- 1.1.4 各種事業の推進 → 報告通り承認された
- 1.1.5 編集委員会活動報告 → 一部修正して承認された
- 1.1.6 今年度の学会賞の選考経過 → 報告通り承認された
- 1.1.7 永年功労会員表彰の選考経過 → 報告通り承認された
- 1.1.8 特別委員会等の設置および活動 → 報告通り承認された
- 1.1.9 支部活動報告 → 報告通り承認された
- 1.1.10 研究部会活動報告 → 一部修正して承認された

1.2 規程の改正

- 1.2.1 日本農業気象学会賞規程 → 報告通り承認された
- 1.2.2 投稿規程 → 報告通り承認された

2. 審議事項

- 2.1 2013 年度一般会計決算報告（案） → 一部修正して承認された
- 2.2 会計監査報告（案） → 提案通り承認された
- 2.3 2013 年度剰余金処分（案） → 提案通り承認された
- 2.4 名誉会員（案）の承認 → 提案通り承認された
- 2.5 2014 年度事業計画（案） → 提案通り承認された
- 2.6 2014 年度一般会計予算（案） → 提案通り承認された

議長解任

3. 2013 年度各賞の授与式

名誉会員：真木太一 会員、古在豊樹 会員

普及賞：宮田 明 会員、大谷義一 会員、三枝信子 会員

論文賞：岩田拓紀 会員、原菌義信 会員、植山雅仁 会員、下野裕之 会員、須藤 充 様、
永野邦明 様、矢崎友嗣 会員、広田知良 会員、鈴木 剛 様、白幡正樹 様、
岩田幸義 様、井上 聡 会員、白木 一英 様

奨励賞：岡田将誌 会員

永年功労会員表彰：青木正敏 会員（総務理事推薦）、浦野慎一 会員（北海道支部推薦）、
蔵田憲次 会員（関東支部推薦）、田中丸重美 会員（中国・四国支部推薦）

学会賞受賞記念講演：宮田 明 会員

閉 会

報告・質問・変更事項等

1.1. 5 編集委員会報告

- 2) () 内は 2013 年度と比較→2012 年度と比較に訂正

1.1.10 研究部会活動報告

- ・リモートセンシング研究部会の活動報告に関東支部のシンポジウム共催を追記

2.1. 2013 年度一般会計決算報告 (案)

- ・農業気象→Journal of Agricultural Meteorology に訂正
- ・会費の減収および掲載料の無料化により減収のため今後の対策を考える (補足説明)

2.5 2014 年度事業計画 (案)

- ・18) 2015 年 9 月 14 日～9 月 18 日開催予定の農業環境工学関連学会 2015 年合同大会への協力 (補足説明)

日本農業気象学会 2014 年度 総会資料

日時：2014年3月19日（水）12:45～14:45

場所：北海道大学学術交流会館

北海道札幌市北区北8条西5丁目

日本農業気象学会 2014 年度総会 議事次第

開 会

会長挨拶

大会委員長挨拶

議長選出

1. 2013 年度活動報告

1.1 事務・事業報告

1.1.1 役員等の交代 2
1.1.2 会員数の動向 2
1.1.3 研究集会・会議等の開催 2
1.1.4 各種事業の推進 3
1.1.5 編集委員会活動報告 4
1.1.6 今年度の学会賞の選考経過 4
1.1.7 永年功労会員表彰の選考経過 5
1.1.8 特別委員会等の設置および活動 5
1.1.9 支部活動報告 6
1.1.10 研究部会活動報告 7

1.2 規程の改正

1.2.1 日本農業気象学会賞規程 8
1.2.2 投稿規程 10

2. 審議事項

2.1 2013 年度一般会計決算報告（案） 11
2.2 会計監査報告（案） 12
— 2013 年度一般会計決算報告（案）・会計監査報告（案）の承認 —	
2.3 2013 年度剰余金処分（案） 13
— 2013 年度剰余金処分（案）の承認 —	
2.4 名誉会員（案）の承認 14
2.5 2014 年度事業計画（案） 14
— 2014 年度事業計画（案）の承認 —	
2.6 2014 年度一般会計予算（案） 17
— 2014 年度一般会計予算（案）の承認 —	

議長解任

3. 2013 年度各賞の授与式

名誉会員，普及賞，論文賞，奨励賞，永年功労会員表彰
会長特別表彰

学会賞受賞記念講演

閉 会

1. 2013年度活動報告

1.1 事務・事業報告

1.1.1 役員等の交代

- 1) 学会賞審査委員会委員長に互選で岡田益己会員が就任
- 2) 永年功労会員表彰審査委員会委員長に互選で菅野洋光会員が就任
- 3) 会長指名理事に以下の方を選出
北宅 善昭会員
- 4) 編集委員に以下の方を選出
武田 知己会員、遠藤 良輔会員

1.1.2 会員数の動向（2014年1月15日現在）

正会員	417 (内外国 4)	(-10)
シルバー会員	30	(0)
学生・ポスドク会員	61(内外国 2)	(-3)
(内訳；学生会員	37 (内外国 0)	(-4)
ポスドク会員	24(内外国 1)	(+1))
購読会員	79 (内外国 0)	(-9)
賛助会員	21	(- 1)
名誉会員	5	(+1)
海外特別会員	72	(0)
合計	685	(- 22)

() 内は、2013年1月15日時点と比較した増減数

1.1.3 研究集会・会議等の開催

- 1) 2013年全国大会：2013年3月26～29日に石川県立大学（野々市市）で開催
- 2) International Symposium on Agricultural Meteorology (ISAM) 2013：2013年3月27～29日に石川県立大学（野々市市）で開催
- 3) 2012年度評議員会：2013年3月28日に石川県立大学（野々市市）で開催
- 4) 2013年度総会：2013年3月28日に石川県立大学（野々市市）で開催
- 5) 2013年度理事会：2013年3月29日に石川県立大学（野々市市）、6月8日に東京大学農学部、8月31日にアイーナ（盛岡市）、12月7日に東京大学農学部で開催
- 6) 第4回温暖化フォーラム「温暖化適応策と農業現場での適応行動」 2013年3月26日に石川県立大学で開催
- 7) 第5回温暖化フォーラム「気候変動への適応と対策」 2013年8月31日 日本農業気象学会東北支部 2013年大会シンポジウム アイーナいわて県民情報交流センターで開催
- 8) 第1回エネルギーフォーラム「公開シンポジウム：第1部 施設園芸における省エネ対応技術、第2部 茶生産と凍霜害」2013年11月29日に開催（東海支部と共催）

1.1.4 各種事業の推進

1) 学会活動の活性化

- (1) 会員サービスとして、メーリングリストを利用した事務連絡等の実施（農業気象学会メール広報）
- (2) ホームページを通じて積極的に情報提供を行った

2) 学会誌等の出版

- (1) 学術誌「Journal of Agricultural Meteorology」：第 69 巻 1 号～第 69 巻 4 号
- (2) 学術誌「生物と気象」：第 13 巻 (<http://www.agrmet.jp/sk/2013/sk13.html>)

3) 日本農業気象学会賞の審査

4) 日本農業気象学会永年功労会員の審査および表彰

5) 日本農業工学会フェローに岡田益己会員を推薦

6) 支部大会等の推進（別表「支部活動報告」の通り）

7) 「研究部会」、「若手研究者の会」等の推進（別表「研究部会活動報告」の通り）

8) 日本農学会，日本農業工学会，農業環境工学系学会連盟，日本地球惑星科学連合の活動を推進，日本学術会議関連の活動に協力，学術会議ニュースの理事への配信

(1) 関連学協会委員

日本農学会 大政 謙次（評議員），横山 仁（運営委員）

日本農業工学会 真木 太一（名誉顧問），荊木 康臣（理事：10月に奥島里美会員より交代），細井 文樹（正会員代議員），星 岳彦（国際会員代議員）

農業環境工学系学会連盟 大政 謙次，小林 和彦（委員），岡田 益己（代表幹事）

日本地球惑星科学連合 大政 謙次（学会長会議員），石郷岡康史（窓口委員・プログラム委員）

地理関連学会連合 山川 修治（オブザーバー）

9) 他学会・団体とのシンポジウム・会議の共催・協賛・後援等を推進

(1) 第 23 回 SHITA シンポジウム「植物工場の新展開」（2013/1/18, 中央大学駿河台記念館）を協賛

(2) 第 58 回風に関するシンポジウム「風のシンポジウム 50 年の歴史を振り返って」（2013/3/9, 日本大学文理学部）を共催

(3) 公開シンポジウム「世界の食料問題へ期待が高まる太陽光植物工場のイノベーション」（2013/3/18, 日本学術会議講堂）を後援

(4) 2013 生態工学会 年次大会（2013/6/29～30, 玉川大学町田キャンパス）を協賛

(5) 公開シンポジウム「気候変動がもたらす 農林業への影響とその対策を考える」（2013/7/12, 東京大学中島董一郎記念ホール）を後援

(6) 農業食料工学会 記念講演会（2013/9/11, 帯広畜産大学 講堂）を協賛

(7) 日本流体力学会 年会 2013（2013/9/12～14, 東京農工大学 小金井キャンパス）を協賛

(8) 公開シンポジウム「多元的共生を志向する農業環境システム設計科学—「農」のあるべき姿の創造—」（2013/9/24, 日本学術会議 6 階会議室）を後援

(9) アグロ・イノベーション 2013（2013/10/23～25, 東京ビッグサイト）を協賛

(10) 第 5 回国際 O-CHA 学術会議（ICOS 2013）（2013/11/6～8, 静岡市グランシップ）を後援

(11) 2013 年第 6 回生態工学会定例シンポジウム・第 3 回陸上養殖勉強会合同シンポジウム（2013/11/8, 東京海洋大学）を協賛

(12) 日本学術会議公開シンポジウム「東日本大震災に係る食料の安全・安心を担保する生産・流通システム」（2013/11/18, 日本学術会議講堂）を後援

(13) NIAES30 周年記念 第 27 回気象環境研究会「農業気象分野の国際研究ネットワークとその連携」

(2013/12/2, 農業環境技術研究所) を後援

10) 各種賞について会員へ推薦依頼, 各種公募研究の案内

(1) 日本農学賞等の受賞候補者の推薦者募集 (2013年度は日本農学賞に推薦者無し)

11) 若手研究者に対する渡航補助

12) 2014年全国大会の企画

13) 世界気象機関 (WMO) の専門委員会である農業気象委員会 (CAgM) が主導する Global Federation of Agro-Meteorology Societies (GFAMS) へ学会としての参加を決定

14) その他, 本学会の目的達成のための各種事業の推進

1.1.5 編集委員会活動報告

1) 編集委員会の開催

第1回 2013年3月27日, 石川県立大学・生産第一セミナー室 (A102)

第2回 2013年6月1日, 電力中央研究所 大手町本部第4会議室

第3回 2013年8月24日, 電力中央研究所 大手町本部第4会議室

第4回 2013年11月30日, 電力中央研究所 大手町本部第4会議室

2) 「Journal of Agricultural Meteorology」, 「生物と気象」の発行

「Journal of Agricultural Meteorology」69巻1~4号 (冊子体, J-STAGEにて公開)

研究論文19編 (+5), 短報5編 (-2), 資料2編 (+2)

「生物と気象」13巻 (電子ジャーナルとして J-STAGEにて公開)

研究論文0編 (-5), 短報1編 (0), 資料0編 (-1), 総説2編 (+1), 記事12編 (-2) (講座0編 (-1)を含む)

* 括弧 () 内は2013年度と比較した増減数.

3) その他

(1) 「Journal of Agricultural Meteorology」をトムソンロイター社の Science Citation Index (SCI) 登録に申請し (2013年9月), 採択された (2013年11月). Web of Science 上の Impact Factor の付与は2016年からの予定.

(2) 主にオンライン審査との適合性, 規定の曖昧な部分の明確化, 英文の可読性の向上のため, 「Journal of Agricultural Meteorology」の Preparation of the Manuscript (投稿規定) の全面的な改定を実施した (1.2.2参照). 発効日は2014年1月1日, 70巻1号に掲載の予定. なお, 「生物と気象」の投稿規定等についても「Journal of Agricultural Meteorology」に準拠した改訂を実施中である (2014年3月18日の編集委員会における審議事項).

(3) 図表・写真原稿がカラーの場合, A) J-Stage 上での原稿 (PDF) のみカラー掲載とするか, B) 雑誌 (「Journal of Agricultural Meteorology」) と J-Stage 上の原稿の双方をカラー掲載とすることを選択できることとした (70巻1号より).

1.1.6 今年度の学会賞の選考経過

2013年9月6日締め切りで, 2013年度日本農業気象学会賞の受賞候補者を公募し, 正会員および編集委員会から推薦があった候補者を学会賞審査委員会で審査. 2013年11月25日付で, 岡田益己学会賞審査委員長より審査結果が報告され, 支部長, 評議員および理事の投票により, 2013年12月24日に下記の会員の受賞が決定した.

普及賞: 宮田 明、大谷 義一、三枝 信子会員 「AsiaFlux の運営を通じた陸域生態系の炭素動態研究への貢献」

論文賞: 下野裕之、須藤 充、永野邦明 (著) 「栄養成長期の高水温はイネの穂ばらみ期耐冷性を向上させる—恒温深水検定圃場での検証—」
生物と気象 12巻, 2012.

論文賞: Hiroki Iwata, Yoshinobu Harazono and Masahito Ueyama (著) 「Sensitivity and offset changes of a

fast-response open-path infrared gas analyzer during long-term observations in an Arctic environment」

J. Agric. Meteorol., Vol 68, No3, 2012.

論文賞：矢崎 友嗣、広田 知良、鈴木 剛、白旗 雅樹、岩田 幸良、井上 聡、臼木 一英（著） 「北海道の気候条件からみた土壌凍結深制御による野良イモ防除の作業日程の検討」生物と気象 12 巻, 2012.

奨励賞：岡田 将誌 会員（研究題目）「日本のコメ収量と品質に及ぼす気候変動影響の評価」(Projecting climate change impacts both on rice quality and yield in Japan)

J. Agric. Meteorol., Vol 67, No 4, 2011.

1.1.7 永年功労会員表彰の選考経過

2013 年 7 月 18 日、各支部に永年功労会員候補者の推薦を依頼した。2013 年 9 月 13 日の締め切りで各支部から推薦のあった候補者を永年功労会員表彰審査委員会に審査を依頼した。2013 年 10 月 15 日付で、菅野洋光永年功労会員表彰審査委員長から審査結果が報告され、支部長、評議員および理事の投票により、2013 年 12 月 24 日に下記の会員の受賞が決定した。

総務理事推薦： 青木 正敏 会員
北海道支部推薦： 浦野 慎一 会員
関東支部推薦： 蔵田 憲次 会員
中国・四国支部推薦： 田中丸 重美 会員

1.1.8 特別委員会等の設置および活動

1) 学会の在り方委員会（委員長：富士原和宏理事）

表彰関係の現状の整理および問題点の把握を目的として、本学会と学問領域の近い学会間での表彰に関する規程・会則等を比較検討できる一覧表を作成するとともに、功績賞の表彰規定改訂について検討を行い、改訂文案を理事会に報告した。

2) 出版委員会（委員長：宮田 明理事）

農業気象の測器と測定法に関する新規出版物の検討を開始した。

3) 国際連携委員会（委員長：小林和彦副会長）

世界気象機関（WMO）の専門委員会の 1 つである農業気象委員会開催の国際会議（2013.11, 済州島）に参加し、Global Federation of Agro-Meteorology Societies（GFAMS）に関する情報を収集した。

1.1.9 支部活動報告

支部名	研究会・講演会・出版物	会員 (2013年1月15日現在)
北海道支部	<ul style="list-style-type: none"> 北海道支部大会 (研究発表, シンポジウム, 総会) : 岩見沢市, 11月18日 (10:00-17:30), シンポジウム「岩見沢の農業気象」 「北海道の農業気象」第65号発行 	正会員 : 39 シルバー会員 : 1 学生・ポスドク会員 : 8 購読・賛助会員 : 10 合計 : 58
東北支部	<ul style="list-style-type: none"> 東北支部大会 (研究発表, シンポジウム, 総会) : 岩手県盛岡市アイーナにて、2013年8月31日～9月1日の日程で開催、参加者約40名 「東北の農業気象」第58号を3月に発行 	正会員 : 36 シルバー会員 : 2 学生・ポスドク会員 : 2 購読会員 : 10 合計 : 50
関東支部	<ul style="list-style-type: none"> 関東支部例会 (研究発表 6件, 施設見学会 (JAXA 見学ツアー「宇宙飛行士コース」), 総会, シンポジウム「リモートセンシング・空間情報と農業」) : 2013年11月8日, 宇宙航空研究開発機構筑波宇宙センター (茨城県つくば市), 参加者59名 「関東の農業気象」第39号発行 	正会員 : 180 シルバー会員 : 8 学生・ポスドク会員 : 31 購読・賛助会員 : 43 合計 : 262
北陸支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会 (研究発表 3件, 講演会, 総会) : 2013年11月15日, 福井市地域交流プラザ, 参加者11名 「日本農業気象学会北陸支部会誌」第38号発行 	正会員 : 13 シルバー会員 : 1 学生・ポスドク会員 : 0 購読会員 : 5 合計 : 19
東海支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会 (研究発表, シンポジウム, 総会) : 2013年11月29-30日, 静岡県で開催. 公開シンポジウム (日本農業気象学会エネルギーフォーラムと共催) : 参加者29名 (内非会員19名), 見学会 : 参加者9名 「東海支部会誌」第71号発行予定 	正会員 : 35 シルバー会員 : 2 学生・ポスドク会員 : 4 購読会員 : 6 合計 : 47
近畿支部	<ul style="list-style-type: none"> 近畿支部大会 : 2013年11月30日, 大阪府立大学 i-site なんば (参加者40名, 一般講演8件, シンポジウム「生態系におけるバイオマスー自然生態系から都市圏生態系まで」を生態工学会関西支部と共催) 「日本農業気象学会近畿支部大会講演論文集」, 第6号 	正会員 : 43 シルバー会員 : 7 学生・ポスドク会員 : 9 購読・賛助会員 : 9 合計 : 68
中国・四国支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会 (研究発表 24件, 総会) : 2013年12月, 愛媛大学城北キャンパス, 参加者35名 「中国・四国の農業気象」第26号発行 	正会員 : 46 シルバー会員 : 4 学生・ポスドク会員 : 2 購読・賛助会員 : 8 合計 : 60
九州支部	<ul style="list-style-type: none"> 支部大会 (研究発表, シンポジウム, 総会) : 2013年11月, 佐賀大学 「九州の農業気象第II輯」第22号発行 	正会員 : 32 シルバー会員 : 5 学生・ポスドク会員 : 5 購読・賛助会員 : 19 合計 : 61

1.1.10 研究部会活動報告

部会名・部会長	事務局・幹事	研究会・講演会・出版物
リモートセンシング・GIS 研究部会 部会長：細井文樹 設立：2000年12月	〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科 清水 庸・飯泉仁之直 Tel: 03-5841-8101, Fax: 03-5841-8175 E-mail: ayosh@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp	特になし
園芸工学研究部会 部会長：後藤英司 設立：2006年6月	〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648 千葉大学大学院園芸学研究科 石神靖弘・彦坂晶子 Tel: 047-308-8843, Fax: 047-308-8843 E-mail: ishigami@faculty.chiba-u.jp	部会特集号の編集、出版。
農業気象リスクマネジメント研究部会 部会長：松岡延浩 設立：2010年3月	〒305-8666 茨城県つくば市観音台 3-1-1 中央農業総合研究センター 農業気象災害研究チーム 大野宏之 Tel: 029-838-8418, Fax: 029-838-8418 E-mail: ohno@affrc.go.jp	日本農業気象学会2013年全国大会において検討会合を開催し、当該年度における農業気象災害のレビューと、メッシュ気象データの利用可能性について検討した。 (独)農研機構中央農業総合研究センターの農業気象研究会を協賛した。 農業気象災害の対策についてのアンケート調査を実施した。
若手研究者の会	〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648 千葉大学大学院園芸学研究科 石神靖弘 Tel: 047-308-8843, Fax: 047-308-8843 E-mail: ishigami@faculty.chiba-u.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・農業気象学会2013年全国大会において、集会「評価の高い学術誌への論文掲載を目指す」を開催 ・ホームページの管理・運営 (http://www.agrmet.jp/wakate/) ・メーリングリストの管理・運営 ・日本学術会議若手アカデミー委員会「国内若手研究者ネットワーク」での活動

1.2 規程の改正

1.2.1 日本農業気象学会賞規程

旧規程	新規定
<p>日本農業気象学会賞規程</p> <p>1. 会則第1章第4条2, 第2章第5条(3)に基づき本規程を設ける。</p> <p>2. 日本農業気象学会賞は次の会員に贈られる。 (1) 農業気象学・農業気象技術の進歩, 発展に著しく寄与した研究業績をあげた会員 (以下この賞を学術賞とよぶ) (2) 農業気象学・農業気象技術の普及, 教育, 啓蒙に著しく貢献のあった会員 (以下この賞を普及賞とよぶ) (3) 本学会の学術的発展や運営に著しく貢献した原則として 65 歳以下の会員 (以下この賞を功績賞とよぶ)</p> <p>(4) 顕著に優れた研究論文が本学会学術誌に掲載された会員 (以下この賞を論文賞とよぶ)</p> <p>(5) 優れた研究論文が本学会学術誌に掲載された 30 歳以下 (審査年度の 4 月 1 日現在) の会員 (以下この賞を奨励賞とよぶ)</p> <p>3. 学術賞, 普及賞, 功績賞, 論文賞, 奨励賞は毎年若干名に贈られる。</p> <p>4. 学術賞, 普及賞受賞者には賞状ならびに賞牌が, 功績賞, 論文賞, 奨励賞受賞者には賞状および記念品が贈られる。</p> <p>5. 学術賞, 普及賞, 功績賞の対象業績は審査の前年度末までの業績とする。業績の中で論文についてはその主要部分が本学会学術誌に掲載されたものとする。論文賞の対象論文は審査の前年度に, また奨励賞の対象論文は審査の前年度末までの 2 ヶ年間に, 本学会学術誌に掲載されたものとする。</p>	<p>日本農業気象学会賞規程</p> <p>1. 会則第1章第4条2, 第2章第5条(3)に基づき本規程を設ける。</p> <p>2. 日本農業気象学会賞は次の会員に贈られる。 (1) 農業気象学・農業気象技術の進歩, 発展に著しく寄与した研究業績をあげた会員 (以下この賞を学術賞とよぶ) (2) 農業気象学・農業気象技術の普及, 教育, 啓蒙に著しく貢献のあった会員 (以下この賞を普及賞とよぶ) (3) 本学会の学術的発展や運営に<u>顕著な功績をあげた</u>原則として 65 歳以下の会員 (以下この賞を功績賞とよぶ) (4) <u>本学会の運営あるいは農業気象学関連の出版活動, 国際会議の開催・運営などを通じて, 本学会の発展に貢献した会員または会員を含む団体もしくはグループ</u> (以下この賞を貢献賞とよぶ) (5) 顕著に優れた<u>原著論文</u>が本学会学術誌に掲載された会員 (以下この賞を論文賞とよぶ) (6) 優れた<u>原著論文</u>が本学会学術誌に掲載された <u>35</u> 歳以下 (審査年度の 4 月 1 日現在) の会員 (以下この賞を奨励賞とよぶ)</p> <p>3. 学術賞, 普及賞, 功績賞, <u>貢献賞</u>, 論文賞, 奨励賞は毎年若干名に贈られる。</p> <p>4. 学術賞, 普及賞受賞者には賞状ならびに賞牌が, 功績賞, <u>貢献賞</u>, 論文賞, 奨励賞受賞者には賞状および記念品が贈られる。</p> <p>5. 学術賞, 普及賞, 功績賞, <u>貢献賞</u>の対象業績は審査の前年度末までの業績とする。業績の中で論文についてはその主要部分が本学会学術誌に掲載されたものとする。論文賞の対象論文は審査の前年度に, また奨励賞の対象論文は審査の前年度末までの 2 ヶ年間に, 本学会学術誌に掲載されたものとする。</p>

<p>6. 学会賞受賞者を次の手続きにより選考する。</p> <p>(1) 学会賞を審査するため別に定める審査委員会規程によって審査委員会を設ける。</p> <p>(2) 審査委員会は学術賞候補者、普及賞候補者、功績賞候補者については推薦を正会員、シルバー会員、学生・ポスドク会員および名誉会員に、論文賞候補者、奨励賞候補者については編集委員会、正会員、シルバー会員、学生・ポスドク会員および名誉会員に依頼する。ただし、同一の論文を受賞対象論文として、論文賞と奨励賞の両方に推薦があった場合には、審査委員会が候補者の希望を確認して、いずれか一方の候補者とする。</p> <p>(3) 学術賞については、審査委員会は被推薦者の論文を審査し、受賞候補者若干名を選出する。ただし受賞候補者の選出には審査委員の2/3以上の得票が必要である。候補者が多数の場合は小委員会を設けることができる。小委員会は審査結果を委員会に報告しなければならない。委員会は必要に応じて審査委員のほかに専門委員を委嘱することができる。専門委員は対象とする論文に限って審査し、審査結果を委員会に報告しなければならない。審査委員会は審査経過書ならびに受賞候補論文の審査書を添えて審査結果を会長に報告する。</p> <p>(4) 普及賞については、審査委員会は被推薦者の著作物（論文を含む）、および教育や啓蒙活動の記録を審査し、受賞候補者若干名を選出する。選出手順および審査結果の報告は学術賞に準ずる。</p> <p>(5) 功績賞については、審査委員会は被推薦者の本学会活動の記録を審査し、受賞候補者若干名を選出する。選出手順および審査結果の報告は学術賞に準ずる。</p> <p>(6) 論文賞、奨励賞については、審査委員会は対象論文を審査し、受賞候補者若干名を選出する。選出手順および審査結果の報告は学術賞に準ずる。</p> <p>(7) 会長は支部長、理事および評議員の投票によって受賞者を決定する。</p> <p>(付則) 本規程は2013年度から適用する。</p>	<p>6. 学会賞受賞者を次の手続きにより選考する。</p> <p>(1) 学会賞を審査するため別に定める審査委員会規程によって審査委員会を設ける。</p> <p>(2) 審査委員会は学術賞候補者、普及賞候補者、功績賞候補者、<u>貢献賞候補者</u>については推薦を正会員、シルバー会員、学生・ポスドク会員および名誉会員に、論文賞候補者、奨励賞候補者については編集委員会、正会員、シルバー会員、学生・ポスドク会員および名誉会員に依頼する。ただし、同一の論文を受賞対象論文として、論文賞と奨励賞の両方に推薦があった場合には、審査委員会が候補者の希望を確認して、いずれか一方の候補者とする。</p> <p>(3) 学術賞については、審査委員会は被推薦者の論文を審査し、受賞候補者若干名を選出する。ただし受賞候補者の選出には審査委員の2/3以上の得票が必要である。候補者が多数の場合は小委員会を設けることができる。小委員会は審査結果を委員会に報告しなければならない。委員会は必要に応じて審査委員のほかに専門委員を委嘱することができる。専門委員は対象とする論文に限って審査し、審査結果を委員会に報告しなければならない。審査委員会は審査経過書ならびに受賞候補論文の審査書を添えて審査結果を会長に報告する。</p> <p>(4) 普及賞については、審査委員会は被推薦者の著作物（論文を含む）、および教育や啓蒙活動の記録を審査し、受賞候補者若干名を選出する。選出手順および審査結果の報告は学術賞に準ずる。</p> <p>(5) 功績賞については、審査委員会は被推薦者の本学会活動の記録を審査し、受賞候補者若干名を選出する。選出手順および審査結果の報告は学術賞に準ずる。</p> <p>(6) <u>貢献賞</u>については、審査委員会は被推薦者の本学会活動記録、著作物、<u>国際会議開催記録等を審査し、受賞候補者若干名を選出する。選出手順および審査結果の報告は学術賞に準ずる。</u></p> <p>(7) 論文賞、奨励賞については、審査委員会は対象論文を審査し、受賞候補者若干名を選出する。選出手順および審査結果の報告は学術賞に準ずる。</p> <p>(8) 会長は支部長、理事および評議員の投票によって受賞者を決定する。</p> <p>(付則) 本規程は2014年度から適用する。</p>
--	---

1.2.2 投稿規程（「Journal of Agricultural Meteorology」の Preparation of the Manuscript）

Journal of Agricultural Meteorology の Preparation of the Manuscript 改訂概要（理事会承認日：2013年12月7日，
発効日：2014年1月1日）

項目	旧規定	新規定	条項
原稿 (Typing)	1) 記載なし. 2) ページマージンは左右 3 cm. 3) 1 ページの単語数は約 700 単語. 4) 記載なし. 5) フォントは "12-14 point Times".	1) 全ページにページ番号を記載する (タイトル～図表まで). 2) ページマージンは上下左右 3 cm. 3) 記載を削除. 4) 文章はシングルコラム形式, ダブルスペースで作成. 5) フォントは "12- point Times New Roman" が同等のフォントを使用.	1.6 (旧 1.5)
原稿 (Units)	1) 組立単位の単位間には中黒 (・) か何ものなし (連続して) で表記する. 2) 除算記号は "/" と括弧の組み合わせか負の指数表記とする.	1) 組立単位の単位間にはスペースで表記する. 2) 除算記号は負の指数表記を推奨.	1.9 (旧 1.8)
図表 (Drafting)	1) 記載なし. 2) 線・文字の太さや表中の文字数の指定.	1) 図の解像度は 600 dpi 以上. 2) 図が縮小して掲載される場合を考慮して線・フォントサイズ・シンボルを作成することの注意.	2.1
図表 (Captions)	1) Captions は図表写真と同ページに記載. 2) Captions の Fig., Table 等は Bold style. 3) マージンに図表の挿入位置を赤字で記載.	1) Captions は独立した別ページに記載. 2) 記載を削除. 3) 記載を削除.	2.2
参考文献 (Format)	1) 雑誌 (journal) 名は略した形式 (略誌名) で記述. 2) 記載なし.	1) 雑誌 (journal) 名は略さずに全ての単語をスペルアウトする. 2) Proceedings の記載方法を提示.	3.1
原稿提出	<u>郵送による提出とオンライン提出が併記.</u>	<u>オンライン提出のみ.</u>	4
発効日	2013年1月28日	2014年1月1日	5

* 上記の規定内容の変更以外に、英文の可読性の向上のために投稿規定の文章を見直し、全体に渡り修正を行った。

2. 審議事項

2.1 2013年度一般会計決算報告

2013年度一般会計決算(案)

1. 収入

科目	予算	決算	備考
学会費	5,622,000	4,577,700	(延べ人数)
正会員	3,791,000	2,966,500	¥8,500(349名)
シルバー会員	165,000	110,000	¥5,000(22名)
学生・ポストドク会員	248,000	229,200	¥4,000(56名)他
購読会員	728,000	702,000	¥8,000(87件)他
賛助会員	690,000	570,000	¥30,000(19件)
売上金	1,810,000	1,283,825	
養賢堂(含む書店)	300,000	300,000	
掲載料・別刷・超過頁等	1,500,000	981,825	
バックナンバー	10,000	2,000	
雑益費	95,000	243,984	
利息	10,000	3,558	
複写権料等	85,000	90,218	複写権料他
その他	0	150,208	石川大会運営分他
前年度繰越金	814,751	814,751	
単年度合計	7,527,000	8,105,509	
合計	8,341,751	8,920,260	

・会費収入が予想より少なかった(予算に対して100名程度の未納があった)。
 ・掲載料の一部無料化および超過ページ半額による減収幅が予想より大きかった。

収入合計	8,105,509
支出合計	6,818,486
単年度収支差異	-712,977
前年度繰越金	814,751
剰余金	101,774

2. 支出

科目	予算	決算	備考
学会誌発行業務	4,974,000	3,941,284	農業気象09(1)-(4)
印刷・製本・別刷り費	2,500,000	2,321,130	
発送費	250,000	226,522	
編集費	850,000	771,960	
編集委員会	500,000	190,962	旅費(事務費2万会):査読者謝礼
on-lineジャーナル			生物と気象
組み版・レイアウト	704,000	288,960	
編集費	170,000	141,750	(養賢堂)
総大会費	300,000	400,000	
大会運営費	300,000	400,000	理事会決定
学会賞費	50,000	157,655	賞状作成費、受賞者交通費
会計業務委託費	1,292,000	1,175,265	
会員業務	560,000	472,142	会員管理(0660*760)、発送等手数料
会計業務	252,000	252,158	会計業務(月額@20000*12)他
受付業務	180,000	189,000	(窓口業務(月額@15000*12)
その他業務	300,000	261,965	議事録、選挙関連等その他委託業務
ホームページ運営費	65,000	69,174	レンタルサーバー、ドメイン管理費、アップロード代
理事会開催費	500,000	421,938	理事会旅費
庶務理事経費	55,000	760	
会計理事経費	60,000	81,410	(振込手数料・ファクシ手数料会)
支部補助費	400,000	374,500	単価700円
部会・研究・渡航補助費	150,000	100,000	
リモートセンシング・GIS研究部会	0	0	
園芸工学研究部会	0	0	
農業気象リスクマネジメント研究部会	0	0	
若手研究者の会補助費	50,000	50,000	
渡航費補助	100,000	50,000	5万円x1名
関連団体分担金	140,000	118,500	
日本地球惑星科学連合	10,000	10,000	
日本農学会費	80,000	66,500	
日本農業工学会費	50,000	40,000	
単年度支出	7,486,000	6,818,486	
予備費	855,751	0	
合計	8,341,751	6,818,486	

資産の部	現金	会計理事預り分	1,265
	"	庶務理事預り分	54,240
	普通預金	三井住友	1,117,174
	"	みずほ	10,586,361
	振替貯金	ゆうちょ	4,827,738
	定期預金	三井住友	9,250,000
資産の部計			25,836,778

負債の部	未払金	養賢堂へ	3,135,004
	未払金	理事会経費	0
	未払金	会計理事経費	0
	未払金	編集理事経費	0
	大会預かり分		0
負債の部計			3,135,004

財産の部	学会基金	11,300,000
	事業準備金	11,300,000
	剰余金	101,774
	(前年度繰越し¥814,751+単年度収支-¥712,977)	
財産の部計		22,701,774

負債・財産合計 **25,836,778**

2.2 会計監査報告

平成 26 年 3 月 3 日

会計監査報告

日本農業気象学会
会長 大政謙次 殿

日本農業気象学会
会計監査 彦坂晶子
杉浦俊彦



日本農業気象学会 2013 年度(2013 年 1 月 1 日～2013 年 12 月 31 日)予算の執行に関し、杜明遠会計理事、細井文樹会計理事より提出された会計書類について、質疑応答を交えながら監査を実施した。その結果、帳簿や証拠書類は正確に記載され、誤りなく出納されていることを確認したことから、当該予算が適正に執行されていたものと認める。

会計監査におけるコメント

1. 昨年度の会費収入前納、会員数の減少、未納者数の増加、学会誌の掲載料一部無料化により、単年度収支が初めて赤字となった。今後も赤字収支が継続しないよう、収入の安定化に留意し、単年度でバランスのとれた予算計画を立てられたい。
2. 会費未納年度の通知対策はすでにとられているが、会員への周知が十分でないと思われます。今後も会員数の増加を図るとともに、未納年度の周知徹底と会費の回収方策について、引続き理事会や各委員会、支部などで検討していただきたい。

2.3 2013年度剰余金処分（案）

2013年度剰余金処分(案)

- (1)2013年度剰余金は、101,774円となった。
- (2)事業準備金から2014年度の一般会計へ2,000,000円を繰入する。
- (3)この結果、学会基金は11,300,000円、事業準備金は9,300,000円、一般会計繰越金2,101,774円となる。

2014年度基本金会計

科目	予算	備考
学会基金	11,300,000	
事業準備金	9,300,000	
	20,600,000	

2013年度基本金会計

科目	予算	備考
学会基金	11,300,000	
事業準備金	11,300,000	
	22,600,000	

2.4 名誉会員（案）

古在豊樹顧問，真木太一顧問を名誉会員に推薦する。

2.5 2014年度事業計画（案）

1) 学会活動の活性化

- (1) 会員数維持および学生会員獲得のための方策の検討および実施
- (2) 広報活動の促進のための方策の検討および実施
- (3) 学術誌の今後の方向性に関する検討

2) 2014年全国大会の開催：2014年3月17日～21日に北海道大学（札幌市）で開催

3) International Symposium on Agricultural Meteorology (ISAM) 2014：2014年3月17日～21日に北海道大学（札幌市）で開催

4) 2014年度総会の開催：2014年3月19日に北海道大学（札幌市）で開催

5) 2013年度評議員会の開催：2014年3月19日に北海道大学（札幌市）で開催

6) 2014年度理事会の開催：東京大学農学部，他

7) 学術誌「Journal of Agricultural Meteorology」の発行（第70巻1号～第70巻4号）

8) 学術誌「生物と気象」の発行，第14巻（ホームページ上で公開）

9) 日本農業気象学会賞の審査および授与

10) 日本農業気象学会永年功労会員の審査および表彰

11) 日本農学賞等の候補者の推薦

12) 支部活動の推進（別表「支部活動予定（案）」の通り）

13) 研究部会および若手研究者の会の活動の推進（別表「研究部会活動予定（案）」の通り）

14) 特別委員会の開催

15) 温暖化フォーラム，エネルギーフォーラムの開催

16) 日本農学会の活動を推進

17) 日本農業工学会の活動を推進

18) 農業環境工学系学会連盟の活動を推進

19) 日本学術会議関連の活動に協力

20) 日本地球惑星科学連合の活動を推進

21) 地理関連学会連合の活動に協力

22) 他学会・団体とのシンポジウム・会議の共催・協賛・後援等を推進

23) 受託研究の受け入れ

24) 国際会議出席者の推薦，国際研究交流の推進

25) その他，本学会の目的達成のための各種事業の推進

支部活動予定（案）

支部名・支部長	事務局もしくは連絡先	研究会・講演会・出版物	会員(2014年1月15日現在)
北海道支部 支部長：谷 宏	〒062-8555 札幌市豊平区羊ヶ丘1 北海道農業研究センター 井上 聡 ino@affrc.go.jp Tel: 011-857-9266	・北海道支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：開催地，日時は未定 ・「北海道の農業気象」第66号発行予定	正会員：40 シルバー会員：1 学生・ポスドク会員：5 購読・賛助会員：10 合計：56
東北支部 支部長：皆川秀夫	〒020-0198 盛岡市下厨川字赤平4 東北農業研究センター 川方 俊和 kawakata@affrc.go.jp Tel: 019-643-3408	・東北支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：開催地は福島県を予定，日時は未定 ・「東北の農業気象」第59号発行予定	正会員：38 シルバー会員：2 学生・ポスドク会員：2 購読会員：8 合計：50
関東支部 支部長：青木正敏	〒305-8666 つくば市観音台 3-1-1 中央農業総合研究センター 丸山 篤志 maruyama@affrc.go.jp Tel: 029-838-8946	・関東支部例会（研究発表，シンポジウム，総会）：日時・場所未定 ・「関東の農業気象」第40号発行予定	正会員：172 シルバー会員：8 学生・ポスドク会員：30 購読・賛助会員：40 合計：250
北陸支部 支部長：関 平和	〒921-8836 野々市市末松 1-308 石川県立大学 生物資源環境学部 皆巳 幸也 yumin@ishikawa-pu.ac.jp Tel: 076-227-7476	・支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：2014年11月，石川県において開催の予定 ・「日本農業気象学会北陸支部会誌」第39号発行予定	正会員：12 シルバー会員：1 学生・ポスドク会員：1 購読会員：5 合計：19
東海支部 支部長：田中逸夫	〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 静岡県経済産業部振興局研究調整課 大須賀 隆司 ryuji1_ohsuka@pref.shizuoka.lg.jp Tel: 054-221-2609	・支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：2014.12月初旬岐阜県で開催予定 ・「東海支部会誌」第72号発行予定	正会員：36 シルバー会員：2 学生・ポスドク会員：5 購読会員：5 合計：48
近畿支部 支部長：北宅善昭	〒599-8531 堺市中区学園町 1-1 大阪府立大学 生命環境科学研究科 青野 靖之 aono@envi.osakafu-u.ac.jp Tel: 072-254-9431	・支部大会：2014年11月または12月（予定），大阪府立大学 i-site なんば（予定） ・「日本農業気象学会近畿支部大会講演論文集」第7号発行予定	正会員：41 シルバー会員：7 学生・ポスドク会員：8 購読・賛助会員：9 合計：65
中国・四国支部 支部長：山本晴彦	〒753-8515 山口市吉田 1677-1 山口大学農学部 生物資源環境科学 科 山本 晴彦 yamaharu@yamaguchi-u.ac.jp Tel: 083-933-5833	・支部大会（研究発表，総会）：2014年12月，山口大学学生会館（予定） ・「中国・四国の農業気象」第27号発行予定	正会員：41 シルバー会員：4 学生・ポスドク会員：5 購読・賛助会員：7 合計：57
九州支部 支部長：北野雅治	〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学農学研究院 環境農学部門 脇水 健次 wakimizu@bpes.kyushu-u.ac.jp Tel: 092-642-3095	・支部大会（研究発表，シンポジウム，総会）：2014年11月，熊本県合志市（九州沖縄農業研究センター，予定） ・「九州の農業気象Ⅱ輯」第23号発行予定	正会員：33 シルバー会員：5 学生・ポスドク会員：3 購読・賛助会員：16 合計：57

研究部会活動予定（案）

部会名・部会長	事務局・幹事	研究会・講演会・出版物
リモートセンシング・GIS 研究部会 部会長：細井文樹 設立：2000年12月	〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科 清水 庸・飯泉仁之直 Tel: 03-5841-8101, Fax: 03-5841-8175 E-mail: ayosh@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp	オーガナイズドセッション（大会開催時）およびセミナー（随時）を企画予定
園芸工学研究部会 部会長：後藤英司 設立：2006年6月	〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648 千葉大学大学院園芸学研究科 石神靖弘・彦坂晶子 Tel: 047-308-8843, Fax: 047-308-8843 E-mail: ishigami@faculty.chiba-u.jp	日本農業気象学会 2014年全国大会においてオーガナイズドセッション「園芸工学研究におけるLED利用」を開催予定
農業気象リスクマネジメント研究部会 部会長：松岡延浩 設立：2010年3月	〒305-8666 茨城県つくば市観音台 3-1-1 中央農業総合研究センター 農業気象災害研究チーム 大野宏之 Tel: 029-838-8418, Fax: 029-838-8418 E-mail: ohno@affrc.go.jp	日本農業気象学会 2014年全国大会にて研究会を開催予定。当該年度における農業気象災害のレビューと、農業気象災害の対応策を実施するためのリーディングタイムについての議論を行う。
若手研究者の会	〒271-8510 千葉県松戸市松戸 648 千葉大学大学院園芸学研究科 石神靖弘 Tel: 047-308-8843, Fax: 047-308-8843 E-mail: ishigami@faculty.chiba-u.jp	<ul style="list-style-type: none"> ・農業気象学会2014年全国大会において、若手研究者向けの研究集会を開催予定 ・ホームページの管理・運営 (http://www.agrmet.jp/wakate/) ・メーリングリストの管理・運営 ・日本学術会議若手アカデミー委員会「国内若手研究者ネットワーク」での活動

2.6 2014年度一般会計予算(案)

2014年度一般会計予算(案)

1. 収入

科目	予算	備考
学会費	5,321,000	※1
正会員	3,604,000	¥8,500×424名
シルバー会員	155,000	¥5,000×31名
学生・ポスドク会員	260,000	¥4,000×65名
購読会員	672,000	¥8,000×84名
賛助会員	630,000	¥30,000×21名
売上金	1,310,000	
養賢堂(含む書店)	300,000	
掲載料・別刷り	1,000,000	※2
バックナンバー	10,000	
雑益費	95,000	
利息	10,000	
複写権利等	85,000	複写権利他
その他	0	
前年度繰越金	2,101,774	※3
単年度合計	6,728,000	
合計	8,827,774	

- ※1. 2013年12月現在会員数を参照
- ※2. Journal of Agricultural Meteorology掲載料無料により減額
- ※3. 事業準備金より ¥2,000,000 繰入
- ※4. 農業気象(Journal of Agricultural Meteorology)は25報程度、生物と気象は10報程度として算出
- ※5. 2014年度より(2013年度第2回理事会で承認)
- ※6. 農業環境工学関連学会2015年合同大会開催予定
- ※7. 学会賞とは別に予算計上した
- ※8. 対象者が増えた場合は、予備費より(2013年度より50,000円増)

収入合計	8,827,774
支出合計	8,827,774
剰余金	0

2. 支出

科目	予算	備考
学会誌発行業務	4,974,000	農業気象(70/1-4) ※4
印刷・製本・別刷り費	2,500,000	
発送費	250,000	
編集費	850,000	(養賢堂)
編集委員会経費	500,000	旅費(事務費3万食): 査読者謝礼
on-lineジャーナル		生物と気象(10報として)
組み版・レイアウト	704,000	
編集費	170,000	
総大会費	600,000	
大会運営費	400,000	※5
合同大会分担金	200,000	※6
学会賞費	50,000	副賞・表彰状など
名誉会員表彰	150,000	交通費・懇親会費など ※7
会計業務委託費	1,232,000	
会員業務	500,000	会員管理(@560×700)、発送等手数料
会計業務	252,000	(会計業務、月額@20000×12)
受付業務	180,000	(窓口業務、月額@15000×12)
その他業務	300,000	
ホームページ運営費	70,000	レンタルサーバー、ドメイン管理費、アップロード代
理事会開催費	500,000	理事会旅費
庶務理事経費	55,000	選挙関連費食
会計理事経費	60,000	(振込手数料・ファクシミリ手数料食)
支部補助費	400,000	単価700円
部会・研究・渡航補助費	150,000	
リモートセンシング・GIS研究部会	0	
園芸工学研究部会	0	
農業気象リスクマネジメント研究部会	0	
若手研究者の会補助費	50,000	
渡航費補助	100,000	10万円×1名 ※8
関連団体分担金	157,000	
日本地球惑星科学連合	10,000	
日本農学会費	80,000	
日本農業工学会費	67,000	要旨集買上分含
単年度支出	8,398,000	
予備費	429,774	予備費の内、学会費の遅滞分が25万円程度と想定。
合計	8,827,774	

財産の部

学会基金	11,300,000
事業準備金	9,300,000
剰余金	0